

1) 適用規則

本レガッタは、国際セーリング競技規則(2021~2024)、日本ヨット協会規程およびこの帆走指示書を適用する。

2) 参加資格

実施要項による。

3) 参加者への通告

参加者に対する通告は、大会本部（1階市協会事務所前）に設けられたレガッタの公式掲示板に掲載される。

4) 帆走指示書の変更

帆走指示書の変更は、当日のレーススタート1時間前に掲示する。

5) 陸上で発せられる信号

5.1 陸上で発する信号は、08:00~17:00の間にクラブハウス2階テラスのフラッグポールに掲揚される。

5.2 AP旗が陸上で掲揚された場合、レース信号AP中の「1分後」を「40分以降」と置き換える。

6) レース日程は次の通りとする。(実施：1レース)

艇長会議は10時30分より受付場所にて行います。

レーススタート予告信号	11:25	(第1グループ)	クラス旗	赤色
	11:30	(第2グループ)	クラス旗	青色
	11:35	(第3グループ)	クラス旗	黄色

表彰式(予定) 14:30

7) グループ旗

第1グループ：赤色旗 (YN 86以下の艇種)

第2グループ：青色旗 (YN 87~109の艇種)

第3グループ：黄色旗 (YN 110以上の艇種)

各グループはレース委員会支給のグループ別リボンをセールスのピークに取り付けなければならない。

8) レースエリア

レースエリアは“A海面”とする。

9) コース

別紙の図による。(トライアングルコースの中央スタート。中央フィニッシュ)

第1グループのコースは、S-1-2-3-1-2-3-1-2-3-F (3周)

第2グループのコースは、S-1-2-3-1-2-3-F (2周)

第3グループのコースは、S-1-2-3-F (1周)

10) マーク

第1,2,3マークはオレンジ色の円筒形のブイである。

11) スタート

① スタートはレース・コミッティーボートのオレンジ色の旗を掲げたポールとアウター側に設置されたオレンジ色のマークの間とする。スタートおよびリコール信号は、レースコミッティーボートから発せられる。

② レースは、規則26に従いスタートする。

予告信号掲揚(5分前) グループ旗(掲揚) 音響1声

準備信号掲揚(4分前) P旗またはI旗またはU旗または黒旗(掲揚) 音響1声

準備信号降下(1分前) P旗またはI旗またはU旗または黒旗(降下) 音声1声

スタート グループ旗(降下) 音響1声

③ 準備信号がまだ発せられない艇は、スタート・エリアから離れ、準備信号が発せられたすべての艇を避けなければならない。

12) U旗及び黒色旗規則

規則30『U旗規則』『黒色旗規則』が適用されたレースにおいて、ゼネラルリコール後にU旗規則の場合、同規則に違反した艇は復帰できる。黒色旗規則の場合はセール番号が本部艇もしくは運営艇に掲示される。掲示された艇はすみやかにレース海面より離れなければならない。

13) リコール

① リコールの場合には、『X旗』が音響1声と共に揚げられる。スタート信号から4分以内に正しくスタートできなかったヨットは、DNSとみなされる。

② ゼネラルリコールは第1代表旗が音響2声と共に揚げられる。この信号が発せられた時には、新しい予告信号は第1代表旗が降下した1分後に音響信号1声と共に揚げられる。

14) スタート後のコース変更

コースの変更は、回航マークにおいて艇が次のレグを開始する前にC旗の掲揚と断続的にホーンを鳴らして通報するものとし、新しいマークのコンパスコースを表示する。

15) フィニッシュ

① フィニッシュ・ラインは、レース・コミッティー・ボートのブルー旗を掲げたポールとオレンジ色のマークの間とする。

② コース短縮の為マーク3でS旗を掲揚した場合、フィニッシング・ラインは、15)①と同様とする。

16) タイムリミット

タイムリミットは各グループスタート後 150 分とする。

17) レース中止、再レース

① レースの中止再レース（海上待機） N旗と音響信号3声

② レースの中止陸上にて次の指示 N旗とH旗と音響信号3声

③ レースの延期陸上にて次の指示 AP旗とH旗と音響信号2声

18) 抗議

抗議は大会本部で入手し得る書式に記入し、最終艇がフィニッシュ後1時間以内に大会本部に提出しなければならない。

19) 得点

① 各ヨットの順位はレース所要時間をヤードスティックナンバーで除去した修正時間により決定する。

各ヨットのヤードスティックナンバーは別に掲示する。

② 同一修正時間のヨットは、ヤードスティックナンバーの大きい方のヨットが上位とする。

20) 失格に代わる罰則

競技規則 44.1. 44.2 を適用する。

21) 帰着の確認

出艇はエントリー、帰着は帰着申告書の記入により、出艇及び帰着を確認する。

22) 賞

総合成績第1位から第6位までに賞が与えられる。

23) 安全

各艇の安全備品（アンカー、パドル等）は各クラスの安全規則に基づいて積載すること。ライフジャケットをハーバーより出艇し帰着するまで必ず着用していなければならない。

安全に関する一切の責任は、各参加者に有り、レース委員会の故意、又は作為による事故以外はレース委員会は責任を負わない。またレスキュー活動は人命救助を目的とするため、艇体を放棄することもある。安全の立場から、レース委員会の判断でレースを中止することもある。

24) 肖像権、カメラ及び電子機器

選手は、本大会に参加することにより、大会期間中の選手または本大会における選手の装備に関する動画、スチール写真および撮影された映像またはその製版について、対価を求めることなく、主催団体に独自の判断で使用する権利を与えるものとする。

図：レースコース（藤沢市オープンヨットレース）

第1グループのコースは、

S-1-2-3-1-2-3-1-2-3-F (3周)

第2グループのコースは、

S-1-2-3-1-2-3-F (2周)

第3グループのコースは、

S-1-2-3-F (1周)

